

# 今日から変える食生活 第5回



健康マネジメント協会 佐藤 恵美子 管理栄養士

のだ。飲酒を控えるとともに飲んだ後は食べない意識を持つてほしい。

食べ過ぎを防ぐため、1日1食を抜くドライバーもいる。多いのは時間のなきも手伝って朝食を抜くケースだが、実は逆効果。食事を抜くと次の食事を大量に食べてしまつたり、空腹過ぎて次に食事を食べる時に血糖値の急上昇にながつたりする。

朝食を抜くと、昼食の「ドカ食い」に加え、間食が多くなることも。夜中に食事をし朝は食べたくなり人は、バナナ1本でも、ヨーグルト1個でもよいので朝に食べることを始めてほしい。夜中にたくさん食べるおのずと少なくなっている。どこかでいまの習慣をリセットしなければならない。

飲酒後のラーメンなど「〆(しめ)の一杯」。これが一番悪い。飲酒後は時間も遅く、塩分や炭水化物、脂肪を多く摂取している。飲酒後に感じる空腹は錯覚。アルコールで上昇した血糖値が急降下し感じるも

食べ過ぎを防ぐため、1日1食を抜くドライバーもいる。多いのは時間のなきも手伝って朝食を抜くケースだが、実は逆効果。食事を抜くと次の食事を大量に食べてしまつたり、空腹過ぎて次に食事を食べる時に血糖値の急上昇にながつたりする。

朝食を抜くと、昼食の「ドカ食い」に加え、間食が多くなることも。夜中に食事をし朝は食べたくなり人は、バナナ1本でも、ヨーグルト1個でもよいので朝に食べることを始めてほしい。夜中にたくさん食べるおのずと少なくなっている。どこかでいまの習慣をリセットしなければならない。

## 勘違いしていませんか?

飲酒後のラーメンなど「〆(しめ)の一杯」。これが一番悪い。飲酒後は時間も遅く、塩分や炭水化物、脂肪を多く摂取している。飲酒後に感じる空腹は錯覚。アルコールで上昇した血糖値が急降下し感じるも

当する量の野菜からジュースを作っているというだけで、実際に食べたことにはならない。補給にはなるが、纖維質の部分を取り除いているので、同じ栄養摂取量とはならないのだ。あくまで食事で摂れない栄養の補助と考えてほしい。

さとう・えみこ　昭和53年2月22日生まれ、39歳。東京都出身。平成12年大妻女子大卒。食品メーカー、葛飾区保健センターなどを経て、27年から健康マネジメント協会管理栄養士として勤務。

**食生活の相談は**  
☎03  
**(5604)9547**  
<https://health-ma.jp/>